

目標達成計画

作成日: 平成29年8月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	運営理念の共有と実践 6月29日の調査時に課題として、年度目標等あるのは良いが、「理念」というものが職員や家族にも判るよう作成し玄関等に掲示する事を期待すると口頭でも伝えられた。	理念について、職員もご入居者もご家族も理解できる表現で再考し、掲示する。	7月27日、グループホームめぐる運営理念を「大事な時間 よりよい今を みんなでつくる」とし、1階・2階の各フロアで文字が上手なご入居者に色紙に筆で書いていただき、1階・2階のエレベーター前に掲示した	1ヶ月
2	19	本人と共に支え合う家族との関係 調査時にホームページのブログやフェイスブックを見ることができにくい、ご家族に紙媒体で運営状況がわる新聞のようなものを発行してはどうかと提案を受けた	8月15日の定期便(請求書等発行)より、めぐるニュース(仮称)を作成し、毎月情報を発信する。	ブログ担当者にめぐるニュースも担当してもらい、他職員には日々の表情など、積極的にデジカメで撮影するよう協力依頼する	2ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 入居時の契約書で説明は行っているが、まだ開設後1年の施設で終末期をむかえた事がなく、ノウハウが積み上げられていない。	全ての職員が終末期に落ち着いた時間を提供できるようにする。	特養等で終末期ケア経験のある職員を中心に施設内研修を行い、落ち着いた時間が提供できるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。